

風の道

がぜのみち

2021年 Vol.26

東部医療センターは令和3年4月1日より、名古屋市立大学医学部附属東部医療センターとして新たな出発をいたしました。

この大学病院化で名古屋市立大学病院・西部医療センターとともに優れた医療人の育成や先端的研究の発信を基盤とし地域に根差した高度先進医療の提供に一層努めて参ります。改めまして名古屋市立大学医学部附属東部医療センターをよろしく願いたします。

呼吸器内科のご紹介

呼吸器内科が扱うのは気管・気管支、肺というごく限られた部分ですが、様々な病気への対応をしています。「当院でなければ対応できない」という分野があるわけではありませんが、肺に関するたいいていの病気について対応させていただけると思います。



肺癌

初期には症状がほとんどないことも多いので、検診はしっかり受けていただくのが良いと思います。また喫煙を避けることも重要です。検診で異常を指摘された、咳が続く、血痰が出たなどの場合はすぐに精密検査をする必要があります。CTなどの画像検査から始まり、内視鏡検査（一泊入院が必要です）を行います。内視鏡検査で診断がつかない場合は、CTガイド下生検、外科的生検が必要になる場合もあります。

診断後は病気の進行度合いにより、手術、放射線、薬物療法、それらの組み合わせにより治療を行います。

治療はガイドラインに沿って行われます。合併症がいくつかある場合は、ガイドライン通りに治療を行うことが困難な場合もありますが、その場合でもご本人・ご家族とよく相談の上、どのような治療ができる可能性があるかを検討して治療方針を決めています。専門病院のセカンドオピニオンをお聞きいただくことも、専門病院へのご紹介も可能です。

肺炎腫

第一に禁煙が必要です。必要に応じて禁煙外来でも対応します。

治療によって肺の状態が元に戻っていく病気ではないので、早く診断して、適切な対応をする必要があります。

CTなどの画像や肺機能検査による診断を行います。肺機能の程度に合った治療を、ガイドラインに沿って行います。治療により息切れなどの症状は改善させることができる可能性があり、患者さんにあった治療を探っていきます。治療の方針が決まれば地域の診療所の先生方にバトンタッチできると思います。その場合も定期的な肺機能の検査などをご依頼いただければ当院で対応をして評価していくことができます。

肺炎

多くの場合は細菌性の肺炎ですから、内服の薬でもよくなる場合があります。その場合は、外来で治療を行います。当院を受診された場合は、検査をして、肺炎の原因となった細菌を可能な限り確認するようにしています。

酸素不足の状態になっている、動くことができない、食べることができないなどの状態であれば入院治療となります。多くは抗生剤の点滴を行うこととなりますが、抗生剤の効果あまり出ない場合は細菌による肺炎ではなく、他の原因による肺炎の可能性も考え、画像診断、必要に応じて内視鏡診断などを行っていきます。

気管支喘息

入院が必要となることは減ってきましたが、わが国でもまだ年間2000人ほどが喘息死されますから油断できません。

治療をしていると症状が良くなるので、もう治療が必要ないと考えてしまいがちですが、完治してしまうわけではないことがほとんどですので、調子が良くても、治療を継続していくことが必要な病気です。治療はガイドラインに沿って行われますが、ある程度治療が決まって状態が落ち着けば、通いやすい地域の診療所の先生に診療していただくのが良いでしょう。症状が悪化した際は、必要に応じて当院を受診いただけます。

ゼーゼーいったり、呼吸困難を生じたりする喘息のような症状をきたす病気は、実は喘息だけではなく、改善がおもわしくない場合は他の病気の可能性も考えて精密検査が必要になります。

咳

咳の原因は本当に様々です。

できるだけ早く改善できればと思いますが、一つ一つ治療の反応性を診ながら診断する必要がある場合もあって、時間がかかってしまうこともしばしばです。ご理解いただければと思います。

その他肺のことでご心配なことがあれば早めにご相談ください。

皮膚科の紹介

当院は特に循環器系疾患に力を入れているため、心疾患や、脳血管疾患、重症下肢虚血、糖尿病に合併することが多い足の病変（足趾潰瘍や壊疽）を持つ患者さんが非常に多いです。

これらの患者さんには、足切断になる前に対処することが重要で、皮膚科の処置に加え循環器内科に虚血肢への末梢血管のカテーテル治療を依頼したり、心臓血管外科から皮膚科へ局所処置を依頼いただいたりと、他科と協力し合いながら診療にあたっております。

全身疾患から生じる皮膚病変も皮膚科で診る疾患です。皮膚は全身の鏡といわれますが、皮疹から全身疾患（悪性疾患、膠原病等）が診断されることも少なくありません。

また、尋常性乾癬や膿疱性乾癬、アトピー性皮膚炎、慢性蕁麻疹で難治の患者さんには積極的に生物学的製剤による治療を取り入れております。慢性の皮膚病（尋常性乾癬、掌蹠膿疱症、アトピー性皮膚炎、尋常性白斑、多形慢性痒疹等）に対する光線治療、アレルギー患者さんに対するパッチテストやプリックテスト、陥入爪の治療（ワイヤー、コレクチオチタン、ガター法、陥入爪手術）、母斑（ほくろ）などの良性腫瘍や悪性腫瘍（皮膚がん）の切除手術、重症の蜂窩織炎や帯状疱疹、重度褥瘡で入院が必要な患者さんの受け入れなども随時行っております。アトピー性皮膚炎や尋常性乾癬では2週間程度の教育入院も行っております。

今後は糖尿病や重症下肢虚血患者さんに対するフットケア外来にも力を入れてまいりたいと考えております。

なお、当院は本年4月から名古屋市立大学医学部附属東部医療センターとなりました。より一層地域の皆様に安心して受診していただけますように日々診療を行ってまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



中央放射線部の紹介

中央放射線部は様々な画像診断装置を用いて、各診療科から依頼された放射線画像を提供する画像技術係に加え、放射線治療を専門に行う部署と放射性同位元素を用いた核医学検査を担当する治療・核医学技術係の2係で構成され、中央放射線部部长である医師1名と診療放射線技師34名で、日々の放射線業務を行っています。

画像診断の分野では、単純X線撮影をはじめとするX線透視、血管造影、CT及びMRI検査等を行っています。放射線治療の分野では、放射線治療医のもとX線と電子線を用い、悪性腫瘍（一部良性腫瘍を含む）に対する低侵襲かつ高精度で安全な治療を提供しています。また、三次救急医療機関として、救急医療に必要不可欠な画像診断及び治療体制を24時間整えています。



日々の診察を支援する中央放射線部として、放射線による医療被ばくを可能な限り軽減し、より質の高い画像を提供できるよう心掛け、チーム医療の一員として地域医療に貢献できるよう今後も努力して参りますので、連携医の先生方のご指導及びご協力の程、よろしくお願いいたします。

病院アクセス

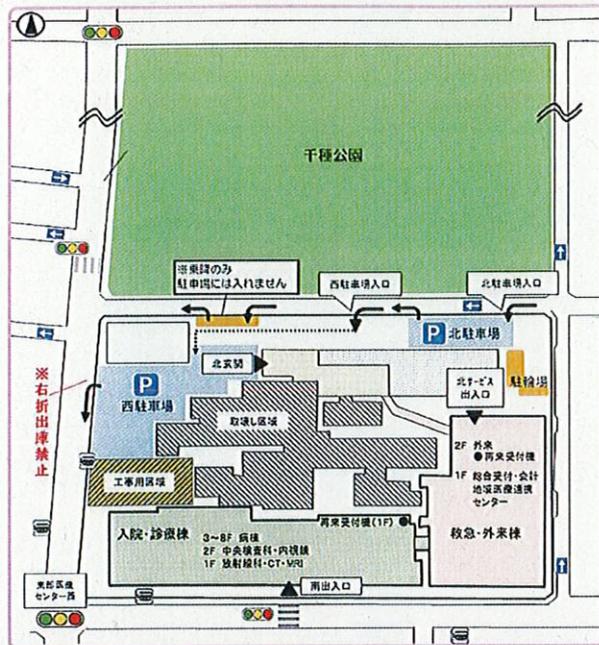
院内駐車場のご案内

お願い

工事にともない院内駐車場が大幅に減少しており、大変混雑しております。

ご来院の際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。

なお、平日の午前中につきましては、院内駐車場の予約制を実施しております。



(一定の条件を満たす場合、ご予約いただくことができます。)

また、院内駐車場の混雑緩和のため、院外（市営池下駐車場内）に**第2駐車場**を開設し、病院との間で**無料送迎車両**を運行しておりますので是非ご利用ください。

駐車場を利用される方へのお願い

- ・病院に用事のない方の駐車はご遠慮いただいております。
- ・入院期間中は車を止めたままにすることはできません。
- ・駐車場内での事故・盗難等トラブルについては責任を負いかねます。

栄養管理科

ヘルシーレシピ

長芋の 焼きコロッケ

栄養量
(1人分)
163Kcal
たんぱく質…6.7g
脂質…6.7g
炭水化物…19.3g
塩分…1.2g



材料 (4人分)

- 長芋 …………… 400g
- 玉ねぎ ……… 1/4 個
- 塩こしょう …… 少々
- 大葉 …………… 6枚
- ツナ缶 ……… 1缶
- 醤油 ……… 小さじ2
- 塩 …………… 少々
- 乾燥パン粉 …… 25g
- サラダ油 …… 小さじ2
- 乾燥パセリ …… 適量

作り方

- 1 長芋の皮をむき、一口大に切る。
耐熱容器に入れてラップをかけ、600Wの電子レンジで柔らかくなるまで(8分程度)加熱し、塩を加えて熱いうちにつぶしておく。
- 2 玉ねぎはみじん切りにし、塩こしょうで炒める。
- 3 葉は千切りにする。
- 4 フライパンを熱し、パン粉を薄いきつね色になるまで炒め、最後にサラダ油を加え混ぜ合わせておく。
- 5 1の粗熱が取れたら、油を切ったツナ缶、③の大葉、醤油を入れて混ぜ合わせる。
- 6 耐熱容器に平らに盛り付け、上から④のパン粉を振りかけ、オーブントースターで1分程こんがり色づくまで焼く。
- 7 最後に乾燥パセリを散らす。

♪ポイント♪ 揚げたじゃが芋のコロッケに比べて低カロリーのコロッケです。揚げないので簡単に作ることができる一品です。